

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所属 生物資源科学部 生物生産科学科 植物生理グループ (秋田キャンパス)
3. 専門分野 植物生理分野
本公募では、作物における光合成産物の有効利用及び気候変動に適応した食料生産に関する研究に取り組める能力を有し、植物生理学的観点からの研究を農学に生かすことができる人材、さらに生物生産分野への就業をめざす学生の教育に積極的に取り組める人材を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 植物生理学 (分担)、植物細胞学 (分担)、植物生化学 (分担)、化学・生物学実験Ⅰ (分担)、化学・生物学実験Ⅱ (分担)、生物生産科学実習 (分担)、生物生産科学実験Ⅱ (分担)、生物生産科学科研究室実験、卒業論文
(大学院) 植物生理・遺伝子制御学 (分担)、課題研究等
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有すること、または原則として採用日までに取得見込みであること
(2) 当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3) 国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4) 採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2026年4月1日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制 (本学給与規程による。)
(3) 勤務 裁量労働制
(4) 任期 5年の任期制 (再任は勤務成績により判断するが、再任回数に制限なし。)
(5) 定年 67歳
8. 応募書類 (1) 履歴書 (本学所定の様式1*による。)
(2) 研究業績書 (本学所定の様式2*による。) 研究業績は、①学術論文 (査読付き)、②国際会議発表論文 (査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。
(3) 主要論文3編 (URLの記載またはコピー)
(4) これまでの研究、教育及び社会活動 (地域貢献を含む。) の概要 (1,000字程度)
(5) 教育に対する抱負 (1,000字程度)
(6) 研究・地域貢献に対する抱負 (1,000字程度)
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
※ *印: 履歴書 (様式1) 及び研究業績書 (様式2) については、ホームページ (<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>) をご参照ください。
9. 応募締め切り 2025年9月5日 (金) 必着
10. 選考方法 提出書類審査、学部選考委員会による面接 (模擬授業を含む)
※ 面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西 241-438
秋田県立大学生物資源科学部 生物生産科学科 藤 晋一
TEL : 018-872-1640 (ダイヤルイン) E-mail : sfuji@akita-pu.ac.jp
郵送※1、電子メール応募※2、またはJREC-IN Portal Web 応募
※1 封筒の表に「生物生産科学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
※2 タイトルを「生物生産科学科教員応募」とし、必要書類を添付してください。
応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20250404_koudou03.pdf)

今回の公募で求める人材像

生物生産科学科、植物生理グループは植物が光合成を通して最終的に産物を生産するまでのメカニズムの解明を通して、光合成産物の代謝を中心とする植物生理学に関する研究・教育・地域貢献を展開するとともに、生物生産分野への就業を導く教育を進めています。

本公募では、植物生理学、分子生物学、生化学の知識と実験技術を有し、高等植物、特に作物を使った植物生理学に関する研究実績があり、光合成過程などの植物生理機能の解明及び光合成産物の生産や環境変動に適応した植物の開発等に興味をもち、本学の植物生理学分野の発展に貢献できる人材を求めます。さらに、これらの研究を通して学部生及び大学院生の教育・研究指導に適切かつ積極的に取り組む意欲がある人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

[教育]

植物生理学、分子生物学、生化学の知識を有し、ゲノム情報や分子遺伝学を駆使し、新たな酵素の機能解析手法や最終産物の形質を評価できる手法を取り入れながら学生に実験を指導できる人材、生物生産分野への就業をめざす学生への教育に意欲のある人材を求めます。

[研究]

植物生理学的観点から光合成産物の有効利用を目指し、環境変動等による影響を分子レベルで解析することで、最終産物の形質の評価システムを構築し、これらの研究から得られた知見に基づいて新たな植物の開発に繋げ、次代の食料生産に生かせる研究に意欲的に取組める人材を求めます。

[地域貢献]

地域の問題をよく理解し、植物生理学的分野において公設試、地域の企業、生産者からの要望に答えられる知識と技術をもち、貢献することに意欲のある人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

生物生産科学科 大講座制グループ構成

基本方針：植物を中心とする生物資源の機能を最新の技術で明らかにし、バイオテクノロジーによってその優れた機能を役立つ形にするとともに生産技術の開発に貢献することを目指す。

生物生産科学講座

植物生産基礎グループ

- ・ **植物栄養分野** **土壌・植物間における元素動態の解明と環境保全への貢献**
 有用元素・有害元素の動態解析と制御、有機性廃棄物・未利用バイオマスの有効利用、環境保全型農業
- ・ **植物生態生理分野** **環境に対する植物の反応から持続的な資源植物の安定生産**
 イネの高温登熟障害耐性、野菜の機能性向上、イネの冠水抵抗性、根系形成の生理学
- ・ **植物保護分野** **植物病害の発生生態を解明し、環境に優しい防除法の開発**
 植物病害の同定、分子生態的研究、化学合成農薬に依存しない病害防除技術の開発

植物遺伝・育種グループ

- ・ **植物遺伝・育種分野** **植物機能を制御する分子機構の解明と植物育種技術の開発**
 在来作物の系統解析と新規需要の開発、植物の変異体を利用した遺伝解析と分子機構の解明、植物の生命プログラムの解明、園芸作物における生殖生理に関わる遺伝子の解析と育種利用

植物生理グループ

- ・ **植物生理分野** **澱粉の合成メカニズムを解明、澱粉新素材の開発**
 貯蔵多糖生産代謝の進化機構、澱粉構造を改変した変異体米の作出と産業利用

分子シグナル制御グループ

- ・ **生物活性物質分野** **植物や昆虫など生物間の相互作用に関わる化学物質の解明と応用**
 生物活性物質の単離・合成、昆虫と植物との相互関係の化学的手法による解明
- ・ **植物分子情報分野** **植物の形態形成や細胞分化に必要な遺伝子の働きの解明と応用**
 植物の形を決めるメカニズムの分子遺伝学的解明

植物資源創成システムグループ

- ・ **植物資源創成システム分野** **植物起原の有用物質の発見・応用と植物工場による植物生産**
 植物・地衣類の有用物質生産と応用、環境制御による効率的な植物生産に関する研究